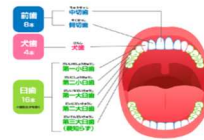


学校名 富士見小学校	1 学年
授業者氏名 沼田 祐里奈	
題材名 「歯のおうさまをぴかぴかにしよう」	
主 眼 6 歳臼歯が生えてきたり、徐々に子どもの歯が抜けてきたりしている子ども達が、むし歯ができる原因や 6 歳臼歯の役割を知ったり、歯みがきが隅々までできているか調べる染め出しをしたりすることを通して、食後の歯みがきはむし歯の予防になることを知り、歯科衛生士が勧める磨き方で磨こうとすることができる。	
学習材	
成果 ①「はのおうさま」のお話 ・ 6 歳臼歯について知り、鏡を使って自分の 6 歳臼歯はどこにあるのかを確認しようとしていた。 ・ 6 歳臼歯は、王様で丈夫なのに、子どものときはむし歯になりやすいことにおどろいていた。 ②染め出し ・ ピンクに染めたことで、よごれが目立つようになり、どのように動かしたら汚れが消えるのか考えながら磨く様子があった。 ・ 歯科衛生士の方から、歯ブラシの「つま先」「かかと」「よこ」を使い分けて汚れを取ることを教わり、場所によって歯ブラシの角度を変える様子が見られた。 ・ うがいの仕方では、「ぶくぶくゴリラ」「ぶくぶくりス」で口の中をきれいにするやり方を教わり、実践した。	
課 題 ・ 日々の歯みがきに、本時で教わったことを取り入れていくことを忘れてしまう。積極的に声がけしていきたい。	



【授業実践振り返りカード】 10月

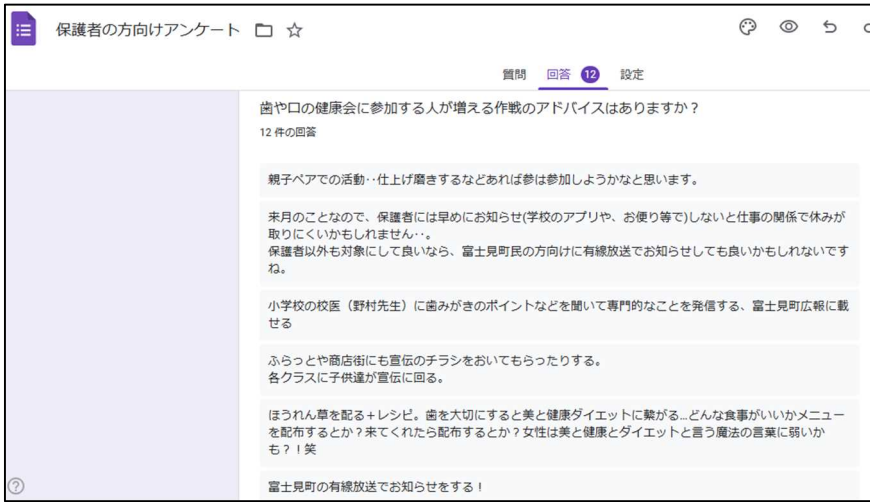
学校名 富士見小学校	学年 2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 「乳歯と永久歯のそれぞれの特徴を知ろう ～粘土を使って～」	
主 眼＜フォーマット＞ 長野県歯科協会、歯科衛生士の大畑芳子先生に、むし歯になりにくい歯磨きの方法を学んだ子どもたちが、前歯・奥歯・犬歯・乳歯・永久歯それぞれの歯の特徴に着目し、粘土を使って、歯の違いを模型で表現することを通して、永久歯は、80年以上も付き合っていく大切な歯であることに気づき、口腔の健康維持管理に関心を高めることができる。	
学習材 ・ 歯の分類のイラスト（8020 推進財団） ・ 粘土で作った歯の模型 ・ 乳歯と永久歯の比較写真	
成 果 ・ 染め出しをやった際、「歯の大きさが違うよ」「子どもの歯がぬけたばかりで、歯がないよ」「大人の歯はけっこう白いな」など、自分の歯には、いろいろな種類（形や大きさの違い）があることに気づいていた。 ・ 「ミュータンス菌」や「プラーク」など難しい言葉を学んだお陰で、乳歯はもうしょうがないけど、永久歯は大事にしたいという発言が聞かれた。 ・ 前歯、奥歯、犬歯などの形の違いを粘土で確認したことで、磨き方を工夫したい、変えてみたいという声が出てきた。	
課 題 ・ 6 歳臼歯が生えてきたり、6 歳臼歯の役割を知ったりすること ・ 歯ブラシが隅々までできているか定期的な見直しが必要なこと	



【授業実践振り返りカード】 10月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 丸山 晃輝	
題材名 「 ルバーブを使った料理作り 」	
主 眼 ルバーブは、生で食べるとすっぱいということに気づき、すっぱいものは唾液を多く分泌させる効果があり、唾液は歯にとってもいいもので、ルバーブは歯にも良いということに気づいた子どもたちが、ルバーブを使ったレシピを考えるときに、歯に良い効果はなにかも合わせて考えることを通して、ルバーブを使い歯に良いレシピを考えることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・「ルバーブ」	
成 果 ① ルバーブだけではなく、イチゴやリンゴにも歯を健康に保つ効果があるということに気づいた。 ② 食感も意識してレシピを考えることができた。	
課 題 ・ガムシロップやはちみつを入れることで甘くしてしまい、すっぱい飲み物を作ることができなかった。	

【授業実践振り返りカード】 10月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯と口の健康」（総合的な学習の時間）	
主 眼＜フォーマット＞ 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の健康」に関するイベントの企画に取り組んでいる子どもたちが、イベントの目的や相手（ターゲット層）に着目し、より多くの富士見小学校の保護者の方に参加してもらうための話し合いを通して、目的や相手を意識して話し合う力を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 保護者からの助言（アンケートの結果）	
	
成 果 保護者からの助言を提示したことで、より「相手意識」をもって話し合う姿があった（「〇〇すれば保護者は来てくれるかも」など）。	
課 題 主体的に話し合いに参加できていない子どもがいた。「歯と口の健康（に関するイベントの企画）」について、「自分事」として捉えられていないことが原因かもしれない。本時の展開だけでなく、単元の進め方を見直していく必要がある。	

【授業実践振り返りカード】10月

学校名 富士見小学校	学年 5 学年
授業者氏名 歯科衛生士さん	
題材名 「 上手な歯の磨き方とお口の健康 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 口の中の健康について（歯肉炎・歯周病）学んだ子どもたちが、自分たちの歯みがきでしっかり歯垢が落ちているかカラーテストで染め出しして通して、自分の歯肉の状態がどうなのかを確認したり、磨き残しがあるところに歯垢が付きやすくなることを確認したりして、上手な磨き方で口の中の健康を維持したり、生活で気を付けることを考えることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 歯科衛生士の話 歯周病や歯肉炎の写真 カラーテスト	
成 果 歯肉をよく見ることで、自分が歯肉炎かどうかを意識する姿が見られた。今まで歯の磨き残しは染め出しで注目していたが、今回は歯肉炎について学んだことで、歯肉にも意識が向いたと思われる。 染め出しは何回も繰り返して行っているが、そのたびに自分の磨き残しを再確認していて、落とせるような磨き方に気を付けてブラシを動かそうとしていた。	
課 題 意識して汚れが落ちる磨き方をするということを習慣化するのは難しい。ただ、こういう機会を繰り返しとっていくことで、知識として身につけ、いつか役に立つとよい。	

【授業実践振り返りカード】 10月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「 よくかんで食べること 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 「ひみこのはがいいぜ」を合言葉に、よく噛んで食べることの効果について学んだ子どもたちが、一食分に自分はどれだけ咀嚼しているのかに着目し、株式会社シャープでバイトスキャンの開発に携わった谷村さんの願いや目的を聴くことを通して、これまで以上によく噛んで食事を摂ることで、健康を維持しようとする態度を養うことができる。			
学習材 ・株式会社シャープ谷村さんのお話			
成 果 ・バイトスキャンを開発した目的を聴くことを通して、よく噛んで食べることの重要性を知り、給食中も一層よく噛んで食べようとする意識が高まった。 ・実際に自分が一食につき何回咀嚼しているのかや、正しい姿勢は維持されているかなどを客観的に捉えることで、より明確な行動目標が期待される。			
課 題 ・準備に多くの時間を費やすため、時間対効果を熟考する必要がある。 ・データをとる日と、本人がデータを知る日にタイムラグがあるため、すぐには意識が高まらない。			